

# 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時:令和7年6月27日(金)

2校時:9:30~10:15(1組)

3校時:10:35~11:20(3組)

4校時:11:30~12:15(2組)

対象者:四絡小学校6年生 1組31名

2組32名

3組31名

1 主題 奈良時代と奈良の大仏

2 ねらい

- ・大仏について体験的に学び、奈良時代に対する理解を深め、仏教で国を治めようとした聖武天皇について理解する
- ・大仏にこめられた思いについて考える

3 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
①講師紹介と本時の流れを確認する(2分)	・担任が行う ・見通しをもたせるため、本時の流れを伝える。
②奈良時代の出雲市内の遺跡を紹介し、遺物に触れる。(10分)	・歴博の講師が行う。 ・遺物に触れる。 ・遺物の持ち方等を伝える。
③奈良の大仏、大仏パネル体験の説明(5分) ・奈良の大仏についての説明 ・大仏の製作についての説明 ・パネル組み立ての手順についての説明	・歴博の講師が行う。 ・手順、注意点を説明してイメージをもたせる。 ・
③大仏パネルの組み立て体験(15分) ・大仏の巨大さについて体験を通して学ぶ ・パネルをパズル形式で組み立てる ・高さ18mの大仏を完成させる。	・大仏パネル組み立ての際には靴を脱ぐ。 ・児童が協力して作業をする。 ・完成後に体育館の2階ギャラリーから完成状況を確認する。 ・記念撮影を行う。
④まとめ(5分) ・学習の振り返りを行う	・担任が行う。 ・質問や感想、まとめを行う。
⑤片付け(8分)	・2、3時間目のクラスは大仏パネルをバラバラにならべて次の時間の準備を行う。

4 準備物

小学校:長テーブル、マイク、カメラ 児童:筆記用具、探検バッグ

講師:大仏パネル、アンケート、遺物セット など